

設備委員会報告——持続可能な建設業経営のための目標工賃 3 万円

2024.8.4



日本保温保冷工業協会 設備委員会委員長 宮寺力也
(株)ミヤデラ断熱

平素は設備部会・委員会に多大なご協力を頂き誠に有り難うございます。

御存じの通り 2024.4 政府にて「建設 新扱い手 3 法」が出来て、1. 建設労働者の待遇改善 2. 資材高騰に伴う労務費へのしづ寄せ防止 3. 働き方改革と生産性向上 が法令化されました。9 月より施行されます。今まで各企業の努力目標だったこの事象が、今度は法令化されます。建設職方に対して賃金低下、待遇悪化などのことは「違法」になります。

建設業は法隆寺建造から続く千年以上の歴史を持つ業界です。その中で技術伝承・発展してきた業界です。現代で絶やすわけにはいきません。将来のためにも持続可能な建設業経営をしなくていいません。そのためには 1 人工 3 万円は必要です。子供が親の職業を継承するためにもこれは必須です。

持続可能な建設業経営のために

職方 1 人工 : 目標 3 万円

年間 250 日で 750 万円

当業界は職方と共に運営されている企業で成り立ち、職方がいなければ成立しない業界であります。どんなに良い断熱材があっても、取り付ける人がいなければ仕事になりません。

今後は好待遇、週休 2 日、仕事の確保が出来ない業界は絶滅していきます。少子化の若者が入職してくれません。これは当業界の“生命線”です。

今一度、業界の生存条件を確認し、我々の運命共同体である職方の持続可能な経営をしていくことをしなくてはいけません。

空調業界、保温業界の中でも、このスローガンをアピールしていきます。これが業界の社会ミッションだと思います。

皆様のご協力のほど何卒宜しくお願ひします。